

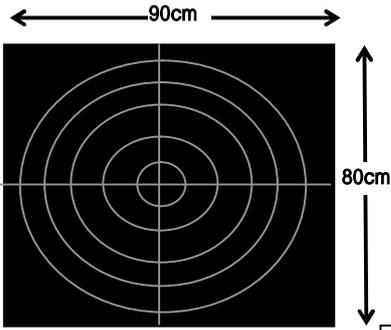
中心暗点検査(平面視野計: 黒板視野計)



目的

- 中心 30° 以内での黄斑疾患、視神経疾患、緑内障、半盲症を生ずる疾患の簡便な検出
- 心因性疾患の管状視野の検出

準備物 黒板視野計・記録用紙・柄のついた視標・チョーク



黒板視野計
たれ幕状になっている

明室で 75cm の距離にて被検者の片眼を遮閉し、黒板視野計の中心が眼の高さになるようにする



正常者なら最初から視野計が全部見えるが、内側の暗点チェックを怠らないこと!

マリ奥特盲点の測定

被検者に黒板視野計の中心を注視して眼を動かさないようにさせながら周囲を意識させ、柄のついた色視標又は環視標が見えたら合図するように指示する

マリ奥特盲点のあると考えられる位置の水平耳側 30° 付近に視標を提示して見えるかを聞き、見えなければその外側付近で見える位置を捜す

次に視標の見えた位置から水平に中心に向かって視標を動かし視標が見えなくなったら合図させてチェックし、さらに進み再度見えてきたら合図させ、おおよそのマリ奥特盲点の幅と位置を確認する



消失法と出現法があるが、どちらかで統一すること。出現法の方がマ盲が大きくなる。



チェックはチョークで OK だが、消えにくいので薄くチェックして多くの点を記入しないこと! すぐに水ぶきすること。

見えない位置の中心付近から視標を垂直方向に 1°/秒 の速さで遠心的に動かし、見えてきたら合図をさせてチェックし、同様に計 8 方向行いマリ奥特盲点の大きさを測定する

30° 内の暗点の測定

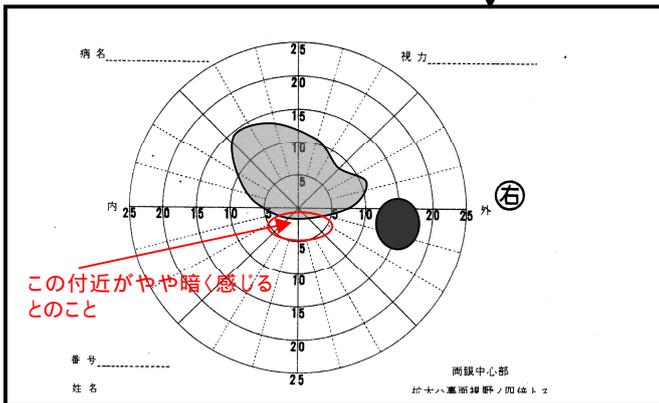
スポットチェック又はゆっくり全体的に視標を動かして 30° 内の色の变化や暗点のチェックを行う

例)

暗点が出た!

マリ奥特盲点と同様に範囲を測定し、結果と気づきがあれば記録用紙に記入し、他眼も同様に行なう

結果・記載例)



判定例)

中心 30° 内の視野異常を生ずる眼疾患あり



自分の検査結果を書いておこう!